

授業実践 単元名 ポスターの秘密をさぐろう

- 1、教科 図画工作
- 2、高学年
- 3、アプリケーション Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショップエレメンツ)
- 4、ねらい

- 自分の考えたポスターと本物のポスターとを比較することで、本物のポスターに含まれる「効果的に伝えるための要素」に気づくことができる。
- 学校生活の中で気づいたことを写真に撮影し、「効果的に伝えるための要素」を活かしながらポスターを制作することができる。
- 写真の撮影、画像と文字の合成などができる。

5、作品例



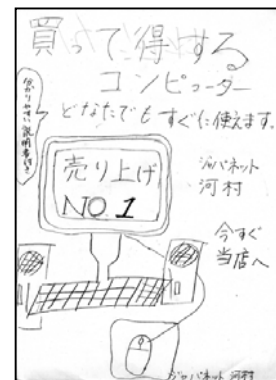
6、活動の流れ

- 1時間目：コンピュータ会社の社員になったつもりで、コンピュータ販売促進用のポスターのアイデアスケッチを描く。その作品と実際に使われているポスターとを比較して、本物のポスターに含まれる「効果的に伝えるための要素」を話し合う。
- 2時間目：学校の中で気づいたことを写真に撮影して、アイデアスケッチを描く。
- 3、4時間目：撮影した写真を使って、学校生活を改善するためのポスターを制作する。
- 5時間目：みんなの作品を鑑賞し、この授業で何を学んだのかを話し合う。

7、授業のコツ

最初に、何も見せずに「販売促進用のポスター」を描かせることです。ほとんどの子どもたちは、真ん中に大きく「売りたい物」を描き、たくさん文字を入れるはず。そこで、はじめて「本物のポスター」を見せます。そこに驚きがあり、様々な発見をするはず。

単元の最後に、「はじめに描いたポスター」と実際に制作した作品とを比較させます。自分の「学び」が明確になりましょう。



はじめに描いた「販売促進用のポスター」

8、授業実践者・マニュアル作成者

前田康裕 熊本大学教育学部附属小学校

ポスターをつくろう

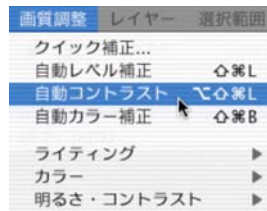
Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショッップエレメンツ) 2.0

1、写真を準備する



2、修正する

「画質調整」メニューの「自動コントラスト」などを使ってきれいにできるように修正します。



2、文章を入れる



「T」のアイコンを選びます。
文字の形や配置を考えながら、
効果的な場所に文字を書き入れます。



文字の種類

文字の大きさ

文字の色



3、文字を加工する

文字のレイヤーをえらんで、「レイヤースタイル」ウィンドウをひらいてみましょう。
ドロップシャドウやプラスティックなどを使うと、文字を加工することができます。

元にもどすときは、
ここをクリックします。



色のついた背景に写真を合成したい場合

1、背景を準備する



ドキュメントサイズは紙の大きさに合わせて設定します。
解像度は、100または150程度にします。

「ファイル」メニューから
「新規」を選択します。



白い背景が準備できました。

2、背景に色をつける



ここではグラデーションツール
で色をつけます。

色の変更

3、合成したい写真の部分を選択する



上のメニューの「ぼかし」のところを20pxにすると、ぼかして合成できます。



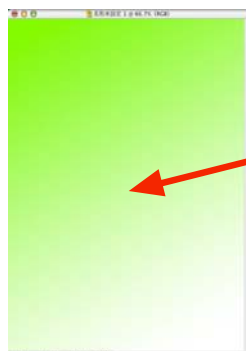
「楕円形選択ツール」
をえらびます。



4、背景と写真を合成する



「移動ツール」を選びます。



合成したい部分をマウス
でドラッグします。



合成完了です。文字を入れましょう。